

文化の風が吹くまち ちくしの

# 文化薫道

◆其の五十四

## 鬼の面

大字紫、国道3号の高雄交差点付近に松尾宮という小さな祠(ほこら)があります。その傍らには、かつて松があり、「面掛松」(めんかけのまつ)と呼ばれていました。「鬼の面」とは、一風変わった地名ですが、その由来とされる太宰府天満宮の「鬼すべ神事」にまつわる伝説が記録されています。江戸時代後期の『筑前国続風土記附録』には「その昔、太宰府天満宮の鬼すべ神事で鬼役の人がここまで逃げてきた。そこで一休みする際に、鬼の面を外して木に掛けた」という内容が記されています。

この場所に、なぜこのような伝説が残っているのか、「鬼の面」という地名が残っているのかについては定かではありませんが、ここが太宰府へ向かう宰府道(さいふみち)の「辻(分岐点)」であったことは注目されます。現在でも追分石(おいわけいし)が現地に残されており、ここは、太宰府市との市境となっています。



現在の松尾宮

つまり、伝説にあるように偶然この場所で「鬼の面」を外したのではなく、古道の「辻」というある種の「境界」であったことが、「鬼の面」の伝承と地名を生んだとも考えられるのではないのでしょうか。

問い合わせ先／文化財課



広報 ちくしの

Chikushino No.1159  
2020年6月15日号

発行／筑紫野市 編集／秘書広報課 ホームページ／<https://www.city.chikushino.fukuoka.jp/>  
〒818-8686 福岡県筑紫野市石崎一丁目1番1号 ☎092(923)1111 FAX092(923)5391

印刷／久野印刷株式会社  
発行部数／42,300部



筑紫野市フェイスブック  
<https://www.facebook.com/ChikushinoCity/>



筑紫野市ツイッター  
<https://twitter.com/ChikushinoCity/>



筑紫野市LINE公式アカウント  
<https://lin.ee/6X9wMoy>